別記第１１号様式

事業実施状況報告書

年　　月　　日

（宛先）

和歌山市長

　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

　　　　　　　　　　　　　報告者

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所

　和歌山市環境教育における体験の機会の場の認定に関する事務の取扱要領第７条の規定に基づき、次のとおり報告します。

（１）認定に係る体験の機会の場で行う事業の実施状況

|  |  |
| --- | --- |
| 体験の機会の場の名称及び所在地 |  |
| 実施の内容 |  |
| 実施の目的 |  |
| 参加者数 |  |
| 実施の期間並びに  実施の回数 | 年　　月　　日　～　　　年　　月　　日（　　年目）  　　　回 |
| 参加費用 | 円 |
| 参加者の反応等 |  |
| 事故等の発生状況並びに再発防止措置 |  |

※事業内容の分かる写真、パンフレット、チラシ等関係資料を添付すること。

１　報告者が法人その他の団体にあっては、「氏名」については、法人その他の団体の名称及び代表者の氏名を記載し、「住所」については、主たる事務所の所在地を記載すること。

２　事業実施期間については、認定を受けた期間の何年目にあたるかを併せて記載すること。

３　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

（２）（１）の事業に係る収支決算

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 収　　入（※１） | | 支　　出（※２） | |
| 項　目 | 収　入　額 | 項　目 | 支　出　額 |
| ○○○費 | ○○○円 |  |  |
| 合計A |  | 合計B |  |

|  |  |
| --- | --- |
| Ａ＞Ｂの場合の剰余金の使途について  （※３） |  |

備考

※１　参加費等による収入、助成金等を記載する。また、事業主からの持ち出し金があれば、それについても記載する。

※２　講師謝金、場所代、人件費、庶務費等、本事業を実施するためにかかる費用を記載する。

※３　収入が支出を上回る場合、その差額の使途について記載する。例えば、「次年度の事業への繰り越し」、「○○購入のために積み立てる」などと記載する。